

2017年度学生アルバイト（Liss）業務報告書

情報メディアセンター

情報メディアセンターでは、2017年度においても図書館学生アルバイトスタッフ（Liss: Library student staff）を雇用し、業務や活動を行った。下記の通り、Lissの業務について報告する。

1. 在籍 Liss 一覧

- 4年…4名（経営経済学部2名、ビジネス創造学部2名）
- 3年…4名（経営経済学部1名、ビジネス創造学部3名）
- 2年…5名（経営経済学部2名、ビジネス創造学部3名）
- 1年…4名（経営経済学部3名、ビジネス創造学部1名） 計17名

2. 基本的な業務内容

- カウンター業務
資料の貸出及び返却処理、利用者からの質問への対応（クイックレファレンス）
- 書架関連業務
資料の返本・配架、雑誌や新聞の移動・廃棄、蔵書点検、書架整理
- データ整備
レファレンス記録のデータ入力、ブログ閲覧数記録業務
- 企画・広報
図書の特集コーナーの設置、教職員インタビュー、SNSを利用した業務報告と宣伝
- その他
図書の装備（ブックフィルムかけ）、業務シフトの作成、業務マニュアルの更新、月1回のミーティング（Liss会）

3. 2017年度スケジュール

4月	新入生クラブ紹介への参加、Liss業務説明会
5月	Liss新人研修開始、IMC合同新人歓迎会、公共図書館（武蔵野プレイス）見学会
6月	公共図書館見学（各自）、読売新聞取材対応
7月	Liss会内ワークショップ（公共図書館見学のフィードバック）
8月	江戸川大学ヘルプデスクとの交流会
9月	IMC合同合宿、選書ツアー、教職員インタビュー記事（山田かおりさん）発行
10月	飛翔祭への参加（古本市）、Liss業務説明会
11月	第19回図書館総合展への参加、Liss新人研修開始
12月	IMC合同新人歓迎会、図書館キャラクター・グランプリ授賞、IMC大掃除
1月	HRC主催確定申告講座への参加
2月	蔵書点検、IMC合同送別会、教職員インタビュー記事（安田先生）発行、HRC全体会への参加
3月	Liss紹介動画撮影

4. 2017 年度特別活動

- 公共図書館見学（2017 年 6 月～7 月）

「嘉悦ならではのサービスを充実させる」という 2017 年度の活動目標を達成するにあたり、館種を問わず、どのようなサービスを行っているのかを調査した。その一環として、Liss 全員で公共図書館（武蔵野プレイス）を見学した。その後も各自で興味のある公共図書館を見学した。公共図書館でのサービス事例をふまえて、Liss 会で新たなサービスを企画した。

- 江戸川大学ヘルプデスクとの交流会（2017 年 8 月 24 日）

嘉悦大学と江戸川大学の両ヘルプデスクで定期的に行っている交流会に、Liss も初めて参加した。交流会の一環として、江戸川大学の図書館を見学した。キャラクターを利用したブックカバーの設置など、本学図書館でも活用可能な取り組みや、広いスペースを自由に使える多目的コーナーといった、江戸川大学だからこそ出来る取り組みなど、他の大学図書館と本学図書館での取り組みを比較することで、多くのアイデアを得られた。そのアイデアを元に Liss 会内で新たなサービスを企画した。

- 飛翔祭への参加（2017 年 10 月 28 日）

飛翔祭で古本市を開催した。学生や教職員、学外の方から不要な本を回収し、1 冊 100 円で販売した。2 日間の開催予定であったが、台風の影響により 1 日目のみの開催となり、売上は 1,900 円(19 冊)であった。

振り返りを行った結果、広報活動の不足など、多くの改善点が見つかった。これらを加味し、報告書には企画段階から実施・片付けに至るまでの手順を詳細に加筆した。

- 第 19 回図書館総合展への参加（2017 年 11 月 7 日）

パシフィコ横浜にて開催された第 19 回図書館総合展に参加した。「第 3 回図書館キャラクター・グランプリ」への参加に加え、2017 年度は「第 2 回全国学生協働サミット」に参加した。サミット内では、Liss の活動事例や、Liss が毎年目標を決めて活動しているといった活動方針に関して 10 分間のプレゼンテーションを行った。学生スタッフ同士で名刺を交換する機会もあり、他大学との人脈づくりや図書館活動について学ぶ良い機会となった。

また、「第 3 回図書館キャラクター・グランプリ」においては、本学図書館キャラクター「りすけ」が出展企業賞(ムレコミュニケーションズ賞)を受賞した。

5. 新たに企画したサービス

- LiPS (Library Point Service)

今よりも本学の学生に図書館を利用してほしいと考え企画した。学部生のみを対象とし、本 1 冊を貸出すごとに 1 ポイントを付与、5 ポイント貯まると次回の貸出期間を通常の 2 週間から 1 ヶ月に延長するというサービスである。2017 年 11 月 13 日～12 月 22 日の約 1 ヶ月間実施した。結果はスタンプカードの配布が 56 枚、貸出期間の延長回数は約 6 回となった。

今回は、延長回数を記録していなかったため、カードにナンバー（通番）を設け、延長の度にスプレッドシートに記録するという次回への改善策を立てた。

- ブックカバー

本学図書館でもブックカバーを作成し導入した。目的は、本の表紙が汚れないように防止をすること、利用者のプライバシーを保護することである。江戸川大学の図書館で導入されていたブックカバーを参考にし、「りすけ」や開館時間等を入れることによって、利用者に本学図書館をより知ってもらえるよう工夫をこらした。

- 「今日は何の日？」コーナー

見学をした多くの図書館では、今日が何の日であるかを展示していた。この展示は出来事をきっかけに、関連する図書を紹介することを目的としている。これに倣い、本学でも同様の展示を行った。導入にあたっては、その日を含め、1週間分を展示する様にアレンジを加えている。

- 長期延滞本特集

延滞は、貸出における問題の一つである。延滞される本には、興味深いものが多いため、それを展示し、来館者の興味を引くことを考えた。この展示は、延滞への注意喚起も意図している。実施には至らなかったが、2018年度中には実施の予定である。

6. 2017年度の反省と来年度への展望

「嘉悦ならではのサービス」には、小規模な図書館だからこそ出来るきめ細やかなサービスがあるのではないかと考え、多くのサービスを企画した。この背景には、学外利用者の方が学内利用者より多いという傾向があるため、学内利用者により足を運んでもらいやすくしたいという思いがあったからである。

そこで、公共図書館や他の大学図書館に赴き、そこで得たアイデアをヒントに新たなサービスを企画した。上記に記載したサービスの他にも、古本市の売上金を用いて、利用者が荷物を置いてゆつくりと検索できるようにOPAC付近に荷物かごを設置した。また、より館内を綺麗に使用してもらうために館内にゴミ箱を新たに追加した。

多くの企画を立案したものの、Liss 個々人の仕事量が増えたことにより、本来の通常業務である広報活動（SNSの更新等）が疎かになるという問題点も浮上した。従来のサービスだけでなく、新たに企画したサービスを利用者に認知してもらうことは重要である。そのため、2018年度の活動目標を「広報に力を入れて、サービスの定着を図る」とした。TwitterやfacebookなどのSNSを今まで以上に活用し、今後も利用者にとって有益かつ「利用して良かった」と言ってもらえる図書館となるよう、Liss 全員が一丸となって活動していきたい。